

## 介護に付帯する周辺業務整理・区分表

法人名(補助事業者名): 社会医療法人 仁愛会

業務区分		業務内容	実施 (予定)
Aクラス	起床		
	食事		
	入浴		
	その他		
	例)一定程度の専門的な技術・知識や経験が必要で、より介護に近い業務(認知症の方への対応や見守り、利用者とのコミュニケーションを要するレクリエーションの補助、趣味活動のサポート 等)		
Bクラス	起床		
	食事	身体状況に合わせた食事の配膳、水分トロミの調整、	○
	入浴		
	その他	専門用語を用いた計画書内容の入力、	
	例)比較的短時間(数時間程度)の研修や指導により得られる程度の専門性が必要となる業務(身体状況に合わせたベッドメイク、個別の注意を要する配膳・下膳など)		○
Cクラス	起床		
	食事	テーブル拭き、エプロンの配布、コップ・食器洗い、お茶いれ、コーヒー準備配布、配膳下膳	○
	入浴	使用済みタオルの回収、	○
	その他	計画書等のパソコンへの入力作業、備品関連業務、ベッドメイク理念交換、ホットパックのタオル交換・補充、テーブル椅子等の消毒清掃、ごみの回収・破棄	○
	例)単純作業としてのベッドメイクやリネン交換、清掃・片付けなどの環境整備、物品の補充・準備など)		

■(公社)全国老人保健施設協会取組等を参考に、貴施設の周辺業務を難易度等から3段階に区分し、うち、交付申請時には従事予定の業務に、実績報告時には実際に従事した業務に○印を記入してください。

■周辺業務をあらかじめ整理・区分することが目的で、従事する業務を縛るものではありません。事業開始後、状況等に応じて従事する業務を変更しても差し支えありません。

■必要に応じてセルを追加して、業務を列記してください。

## 介護助手導入の評価

※別紙2「周辺業務整理・区分表」に記載した「従事した業務」ごとに作成してください。

施設名:介護老人保健施設アルカディア

評価者:主任 氏名 儀間優紀

業務名	食事関連業務、リネン交換関連業務、清掃関連業務、	
業務内容	自助具の用意、エプロン配り、足置きの回収、配膳、テーブル拭き・食後床清掃、エプロンの洗濯、自助用具洗い・消毒等	
業務導入の評価	所属長の評価	←評価する <input type="checkbox"/> 5 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 評価しない→
	理由	・これまで介護職員が行っていたが、介護助手に担わせたことで、介護職員の負担軽減が図られた。 ・介護助手制度導入に伴い、業務の見直しができ、効率化が図られた。・職員の指導力の向上に繋がった
	職員の評価	←評価する <input type="checkbox"/> 5 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 評価しない→
	理由	・雇用直後はマンツーマンでの指導が必要だったため限られたスタッフでの指導となり負担がかかったが、介護助手自身が業務になれた後はスムーズに遂行され、概ね職員の評価は高かった。
業務の概要及び導入時に留意した事柄	1 雇用環境 (1)勤務時間	7:45～15:00の間の3～5時間
	(2)賃金	770円
	(3)勤務日数	週4日～5日
	(4)年齢	40代から50代
	2 業務環境 (1)業務指示者等	・リーダークラスのスタッフで介護助手の業務を確認し、スケジュールを作成。スケジュールに沿って統一した指示を行った。日誌を導入し困りごとや難しい業務の確認を行った。
	(2)業務研修	■必要である <input type="checkbox"/> 必要性は少ない (理由)通所リハビリテーションのオリエンテーションを実施。介護保険の施設である事、本人の役割等を伝達した。一度、業務の流れや作業行程を研修した。
	(3)知識、技術	■必要である <input type="checkbox"/> 必要性は少ない (理由)衛生面における一定の知識、コミュニケーション能力、
3 その他		

業務を導入した効果	1 業務	←軽減された □5    ■4    □3    □2    □1 軽減されない→ (理由)助手が軽度な介護業務を担うことで、介護福祉士が重度介護者の対応や医療ニーズの高い方への対応に専念する事ができた。
	(1)介護職の業務はどの程度軽減されたか。	
	(2)介護業務以外で導入の影響があったか。	■有り (理由)介護助手の導入により、介護福祉士の利用者と関わる時間が増加した。喀痰吸引や医療的ケアの勉強に時間を取れるようになった。  □無し
	(3)介護職の反応はどうか。	□好意的に受け容れた    ■戸惑いがあった    □変わらない (理由)雇用直後はマンツーマンでの指導が必要だったため介護職員の負担感が強まったが、介護助手自身が業務になれた後はスムーズに遂行され、職員は概ね好意的に受け入れた。  □無し
	(3)利用者の反応はどうか。	□好意的に受け容れた    □戸惑いがあった    ■変わらない (理由)  □無し
	3 その他	
今後の導入について	1 この業務について継続して介護助手を導入するか。	■導入する ■導入しない (導入しない理由)・基本的には導入するが、一部の業務は従来通りに介護職員で行う。 ・介護助手は食事関連業務について、食事の配膳・下膳のみ。食事介助については介護職員やセラピスト、看護師で行うこととした。
	2 経費面から見てこの業務への介護導入をどう考えるか。	
	3 その他	